

全世界のお客様に対して美しい白馬の自然を提供し、安らぎと感動をお持ちいただくために、地域未来牽引企業として事業開拓する熱意と、発想の柔軟さ、地域密着と地域還元、自然資源との共存共栄、事業計画の設計などについて研修いただき視察を行うことが出来た。

HAKUBA を一つの統一したエリアとしてブランド化し、国内外にPRし、積極的な外国人の誘客に成功している。経済活動と共に自然環境との共存にも開発の重要な視点を置いた積極的な展開を活かしたい。



白馬村 白馬岩岳「マウンテンハーバー」を視察

富山県朝日町「移住・定住事業について」

①移住定住対策、空き家対策 一体的整備事業

朝日町は、人口減少率が富山県1大きいと推測される中、移住対策と空き家対策に一体的に取り組むことで成果を上げてきた。



富山県朝日町のささ郷 ほたる交流館
(移住交流体験施設) を視察

具体的な対策としては空き家情報バンクを活性化し、移住者である民間人の「空き家コンシュルジュ」をおき、移住定住相談員として入居希望者と地域との橋渡しや情報提供を行っている。

また空き家を改修しお試し住宅として、家族連れも含め中長期の家族の滞在を提案し実際に暮らしていただき移住に繋げるなど、建物の活用からも移住政策の機能向上を図っている。同じく市街から数キロ山間にに入った庄屋の家屋を改修し、移住お試し滞在場所として安価で使ってもらい、地域での体験や交流を促すなどの施設も持っている。駅前には空き家を活用した移住定住拠点を整備し、地域おこし協力隊が常駐し空き家・アパート、求人情報の紹介、補助金の紹介などワンストップの移住定住の相談を行っている。

社会文教常任委員会 所管事務調査

新潟県十日町市

「十日町市博物館の博物館行政について」

①原始芸術の最高峰と言われる国宝の火焰型土器群を実際に見学し、現在の展示方法、メディアへの周知方法、新博物館建設のプロセスなどを研修した。水煙渦巻文深鉢を含む素晴らしい土器群を収蔵する井戸尻遺跡に調査結果を反映する事が目的である。

火焰型深鉢土器「縄文雪炎」からは凄まじい力強さを感じ、出土状態も修復跡がほとんどなく出土したという背景もあり、改めて国宝の意義を知りました。

老朽化と耐震構造の課題が博物館建替えの理由で、基本計画から建物建設、展示業務委託に至る全てのフローを研修しました。旧館の改修案や新館建設案等の改修案が入念に検討された過程や、最終的に新館建設案が採択されるに至った詳細を伺いました。

今後、井戸尻の大切な土器群をどのように守るか、また多くの方々に見て頂けるかを考え、井戸尻考古館が直面する老朽化と耐震構造課題への対策を踏まえ、この調査結果を一刻も早く実現可能な計画策定に活かせるよう最善を尽くしたい。



新潟県十日町市 十日町市博物館に
展示されている国宝 火焰型土器を見学



新潟県糸魚川市の人口減少対策について
説明を受ける富士見町議員

新潟県糸魚川市「人口減少対策について」

①2035年前後に老齢人口が生産人口を追い越し、2045年には老齢率が約50%になり、年少人口は右肩下がりに減少していく「人口統計グラフ」の比較図が糸魚川市人口減少対策係より提示されました。総人口の違いはありますが、糸魚川市と富士見町のグラフ値の構成は極めて近似していました。

定住促進施策「リバイバル25」事業

様々な人口減少対策に取り組む中でも、人材育成等を目指し、進学や就職後でつながりが希薄となる25歳に、若者の仲間作りや出会い創出の手段として一堂に会するイベントを実施。組織された実行委員会に補助金を交付し、繋がりの活性化を図る。

特集

富士見町議会では、全国の先進的な行政や民間事業者の取り組みについて、行政視察や各常任委員会の所管事務調査を行っています。

今年度は10月に全議員で滋賀県野洲市、広島県東広島市。総務経済常任委員会で長野県白馬観光開発株式会社、富山県朝日町。社会文教常任委員会で新潟県十日町市、糸魚川市に伺い、テーマに沿って事例を研修し、状況を伺ってきました。

この研修での成果を、富士見町の行政職員と一緒にになって公共の福祉向上につなげていくことが目的です。簡単に今回のレポートを載せますが、詳細につきましてはホームページでも確認できますので、町民の皆さんも参考にしていただきたいと思います。

また議会に対して、他の行政や民間の取り組みのなかで、視察地として先進的な候補地がございましたらお知らせください。積極的に次の学びに継続させていきます。

富士見町議会行政視察

滋賀県野洲市

①生活困窮者支援について

相談業務全般を円滑に解決につながるようワンストップに配置され、総合相談窓口と専門窓口によって市民の様々な相談にあたるようにしている。庁舎内にハローワークのブースも設置して、就労と生活支援を一体的に提供している。

一人を伸ばせない、救えない制度は制度ではない。を合言葉として、「おせっかい」を基本としてどんな相談でも対応し、なにか気が付いたことからその背後にある支援の必要性を探る事業である。

②債権管理条例について

主眼は滞納者(生活困窮者)の生活再建、支援を踏まえて制定された。“ようこそ滞納いただきました”を合言葉に、滞納は生活状況のシグナルと考え、これを手掛かりに援助開始を検討し、自立支援へと結びつけることを最終目標としている。



滋賀県野洲市にて生活困窮者支援等の説明を受ける富士見町議員

広島県東広島市

①平成30年7月豪雨災害からの復興、災害対策について

気象予報警報等の警報発表から、市の体制・避難情報等を時系列にて検証することができた。

大雨警報から洪水注意報、洪水警報発令、土砂災害警戒情報発令、大雨特別警報への切り替えなどの刻々と変わる自然状況と、同時に進行する行政の対応は、災害対策本部設置からの避難勧告、避難指示、職員の非常態勢時対応、自衛隊要請など時々の動きを検証することができた。

②復旧対策

災害救助法適用、被災者生活再建支援法適用、特別非常災害指定、激甚災害制度指定を受けながら、現在もまだ復興途中ではあるが復興復旧対策においてはプランを策定し、優先度を決め公共債と農林債を極力地域一体で発注している。災害対応については外部委員による検証を行い、その報告書に基づき東広島市地域防災計画を改定した。



広島県東広島市議会議場

総務経済常任委員会 所管事務調査

長野県白馬村 白馬観光開発株式会社

(八方・岩岳・梅池の3つのスキー場を運営する白馬山麓エリア最大の索道事業者)

①「世界水準のオールマウンテンリゾートを目指して」

自然に密着したサービス業として、リゾート開発、ワーケイション、古民家の再活用宿泊事業などについて、白馬岩岳「マウンテンテラス」にて代表取締役社長和田寛氏から研修、岩岳民宿街「庄屋丸八・旅籠丸八」にて街並みの活性化づくりの実際を視察する。